

岐阜県立斐太高等学校

学 校 長 中垣内隆夫

学校住所 高山市三福寺町 736 番地 電話 0577-32-0075

1 会議の名称 岐阜県立斐太高等学校 学校評議員会（第2回）

委 員	伊藤 松寿	有斐会会長	
	金子 俊平	公益社団法人 日本青年会議所（東海地区岐阜ブロック協議会会長）	
	田辺 友也	特定非営利活動法人まちづくりスポット事務局長	
	二村 陽子	(株)飛騨高山テレ・エフエム(ナビゲーター)	
	蓑谷 雅彦	育友会会長	(委員名は五十音順)

学 校 側	中垣内隆夫	校長
	荒井 朝子	事務部長
	奥村 哲也	教頭
	竹本 哲行	教務主任
	渡辺 圭子	進路指導部長
	奥田 寛	生徒指導部長
	槇本 寛	特別活動部長

3 会議の目的 学校運営について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。そのため岐阜県立斐太高等学校に学校評議員会を置く。

4 会議の開催 平成 29 年 1 月 25 日(水) 13:30～15:30 斐太高等学校(有斐会館会議室) 委員 3 人と学校側 7 人が出席 ※欠席者 金子 俊平氏、二村 陽子氏

- ## 5 会議の概要
- (1) 開式 (13:30～13:40)
 - ・ 学校長挨拶
 - ・ 活躍する斐太高生
 - (2) 授業参観 (13:45～14:35)
 - (3) 協議 (14:45～15:30)
 - ・ 授業参観に関するご感想・ご意見
 - ・ 平成 28 年度 本校の近況と課題について
 - ① 『生徒及び保護者等を対象とするアンケート』結果について
 - ② 自己評価 (各分掌より)
 - ・ 意見交換「本校教育に対する提言」

(1) 授業参観に関する感想・意見

- 意見 1 授業開始の起立・礼に始まり、授業規律がきちんと確立し、どのクラスも静かに落ち着いて授業を受けているのがよかった。
- 意見 2 教室が整理整頓され、6時時間目の授業で、やや眠くなるような時間帯であったが、生徒は集中していた。また、教室移動の際も前回参観した時より多くの生徒がしっかり挨拶し、活気が感じられた。
- 意見 3 授業の最初に「本時の目標」が提示されていたのは、昔の自分たちが受けた授業のイメージからすると新鮮であった。また、生徒同士でコミュニケーションをしながら授業をつくりあげている様子を見ていると、互いに切磋琢磨していると感じた。
- 意見 4 各クラスに除雪当番が割り当てられているが、互いに助け合える人間関係が形成される仕掛けがされていると感じた。

(2) 本年度の各教育活動の説明とそれに対する質問

説明事項 ①活躍する、斐太高校生

②『生徒及び保護者等を対象とするアンケート』結果について

③自己評価（教務部 進路指導部 生徒指導部 特別活動部より）

- 意見 1 遅刻者がやや増加したことの原因の一つに、始業時間の開始が5分早まったことが影響しているとも考えられるなら、始業開始時間を見直すことも考慮してはどうか。

学校側 始業時間を早めたのは、今年度から50分授業を7時間実施するためであり、始業開始時間を遅らせると、部活動など放課後の活動時間が減ることになる。その点も含めて総合的に考えていきたい。

- 意見 2 総合的な学習の時間で生徒からのアンケート結果がやや低くなっている点について、その対応等はどう考えているか。

学校側 今年度までは、学年・教科の企画を多面的に盛り込んできた。今年度新しく2年生が「ふるさと創生起業提案コンテスト」に取り組み始めたので、その学習時間に充てるなど次年度以降は弾力的に扱いながら、より効果を高められるように実施していきたい。

(3) 本校教育に対する提言

- 意見 1 個人情報保護の観点から難しいかもしれないが、学校のホームページに教員の名前や

写真等を掲載したり、日々の学校の取り組みをトピックスとして掲載したりすることで親しみが増し、ホームページを見る人がより増えるのではないかと。

- 意見 2 地元の人手不足の解消のためにも、是非、小・中・高と連携を強固にして、小さいときから児童・生徒に飛驒の良さを伝え、ふるさとに対する理解を深める取り組みを行ってほしい。
- 意見 3 今年度のPTフォーラムに参加された保護者の方々から、話の内容は、是非、生徒にも聞かせたいとの要望が強かったので検討していただきたい。
- 意見 4 子どもの数が減るということを踏まえ、斐太高校の今後のあり方について、今から十分考えておく必要がある。

6 会議のまとめ

第2回の学校評議員会では、始めに授業を見ていただき、その後、本校の教育活動について説明し、感想および提言をいただいた。

生徒の学習に取り組む姿勢は、昨年度と同様高い評価をいただいた。各委員からは、保護者からの要望、学校情報のより積極的なPR、地域連携に向けての具体的方策などについて斐太高校をよくしていくための意見、提言がなされた。